



火山灰

日本列島の最北の地として 北海道観光コースの1つに数えられている火山島「利尻」。その雄姿は本紙 No. 106 の本欄で紹介された。稚内港からの連絡船でゆられること約4時間 利尻島鷺泊港に着く。港に近づくとつれてだれの目にもとまるのが この写真の崖（高さ約70m）である。利尻火山の歴史をも秘めているこの崖は 北海の風雪の影響でつくられた崩壊地形でもあることがわかる。

これは利尻火山の基盤岩を構成している新第三紀の稚内層相当層の珪藻質泥岩で その上位に不整合関係で10数枚もの利尻のスコリヤ層がみごとに成層している。スコリヤの噴出時代は 島の他の地点で採取した木炭片のC¹⁴年代測定の結果から 約2万年以後のものである。

所内 第10回 写真コンクール 入選作
「火山灰」地質部 河田 清雄

—地質調査所の出版物—

・地質調査所月報 第15巻 第5号

報 文

- 森 和 雄：池田喜代治：青森県八戸村および上北 下北一円
の地下水について
山田 正 春：高知県下のクロム鉄鉱床および蛇紋岩
駒 井 二 郎：核磁力計の試作研究

—特に連続記録装置について—

概 報

- 稲 井 信 雄：奈良県吉野川電源開発地質調査
清 島 信 之：高知県名野川石灰石鉱床
清 島 信 之：徳島県阿南市阿南鉱業KKエンドレス隧道(123m
坑)坑内落盤箇所地質について

資 料

- アルタイ山脈 チュイスク・ステップ北方外縁部におけ
る地質ならびに水銀鉱床の成因の特徴 (岸本訳)

No. 118 6月号 目 次

マンガン鉱物と鉱石
大岳の地熱開発軌道にのる
わが国の原料炭資源の展望
グロンプテリスのなぞ
フォッサマグナの西の縁
台湾の鉱業と探鉱(石炭)
間違いだらけ

地 質 ニ ュ ー ス

第 117 号 5 月 号

定 価 ￥ 170 円 12

昭和 39 年 5 月 25 日 発行

編 集

工業技術院 地質調査所

発 行 人

林 久 雄

発 行 所

株式会社 実業公報社

東京都千代田区九段4の11

Tel. (261) 7173・9387

振替口座 東京 32466

総発売元

政府刊行物販売所

東京都千代田区大手町1の6

Tel. (221) 5 5 7 0

印刷所

共同印刷株式会社